

たのしい たのしい 船穂校♪

倉敷市立船穂小学校 横山文朗

薪作り

十年前に『キッズキャンプ』を始めた時に、「野外炊事やキャンプファイヤーで使う薪は私が用意します。」と言ったこともあって、そのころは冬場にはよく薪を作っていた。転勤して声もかからなくなったので、しばらくは作ってはいなかった。だから、今年、「薪は用意してもらえるかな。」と聞かれてすぐには返事ができなかった。キャンプで使うだけの量が薪小屋に残っているかどうか自信がなかったからだ。薪はどうか足りたけれども、作り足さないと1～2年で底をつきそうだ。

12月にチェーンソーを新調して冬休みから薪づくりをしている。私の生まれた家の裏山には、樫や椎や檜の木がうっそうと茂っている。だれも伐採をしないものだから、素人では手が出せないような大木も多い。直径20cm程度の木を選んでチェーンソーの刃を入れる。まず直径の3分の1程度まで切り、次に斜め45度くらいの角度で切り、その少し上を最後に切る。木は、思わぬ方向によじれながら倒れることがあり、何度やっても緊張する。倒れると、40cm程度に胴切りして、斧で割る。最初に二つに割るには少々力があるが、その後は、斧の重さを自然に振り下ろす程度で簡単に割れる。うまくパカーンと割れると気持ちがいいし、薪小屋の中が満ちてくると豊かになったような気がして楽しい。枝も40cm程度に切りそろえ、小枝はたき付け用に使う。葉っぱ以外は捨てる場所がない。

焚き火をしながら薪を割り、あきると春作の準備のために、畑の草をけずりレーキで集めて耕運機で耕す。疲れると焚き火にかけていたヤカンの湯でお茶やコーヒーを入れて飲む。そしてまた、薪を割ったり畑を耕したりする。休みの日ぐらいはゆっくり過ごせばいいのと思うかもしれないが、自分のペースで体を動かすのはとても気持ちがいい。山深い所なので、めったに訪ねてくる人はなく、この時期は畑に出ている人もいない。誰にも迷惑をかけないし、気ままに過ごせるのも楽しい。

ただ、まだ田の耕運もできていないし、梅や桃や柿の剪定もできていないと思うと少しばかり焦る気持ちもある。

